

令和元年度

# 事業概要



さいたま市食肉衛生検査所

## 目次

第1章 総説	1
1 食肉衛生検査所の沿革	2
2 組織	2
(1) 市行政組織における位置付け(令和2年3月31日現在)	2
(2) 職員構成(令和2年3月31日現在)	2
3 庁舎の概要	3
(1) 名称	3
(2) 案内図	3
(3) 所内平面図	3
4 主要検査機器一覧	4
第2章 食肉衛生検査事業の概要	6
1 と畜検査	7
(1) 所管と畜場	7
(2) と畜検査の流れ	7
(3) と畜場開場日数	7
(4) と畜検査頭数	7
(5) 精密検査検体数	8
2 と畜関連検査	8
(1) 家畜伝染病予防対策	8
(2) 搬入枝肉の検査状況	8
(3) その他	9
3 食鳥検査	9
(1) 食鳥処理場施設数(平成31年4月1日現在)	9
(2) 食鳥処理場巡回指導状況	9
(3) 確認状況報告	9
(4) 届出食肉販売業	9
4 と畜場及び食鳥処理場の衛生対策	10
(1) と畜場及び食鳥処理場の衛生検査	10
(2) 牛の特定危険部位(SRM)処理の作業確認の実施	10
(3) 食肉衛生月間の実施	11
5 その他許可・証明等	11
(1) と畜場外への持ち出し許可(令和2年3月31日現在)	11
(2) 証明書の発行	12
6 普及啓発事業	12
(1) 視察、見学及び学生実習等の受入れ状況	12

(2) ホームページによる情報公開 .....	12
<b>第3章 統計</b> .....	13
1 と畜検査頭数 .....	14
(1) と畜検査頭数の推移 .....	14
(2) 生体産地別と畜検査頭数 .....	15
(3) 月別と畜検査頭数 .....	16
(4) と畜検査獣畜の種別 .....	16
2 とさつ解体の禁止又は廃棄したものの原因 .....	17
3 病類表 .....	18
(1) 全部廃棄 .....	18
(2) 一部廃棄 .....	19
4 精密検査内訳 .....	22
参 考 .....	23

# 第 1 章 総説

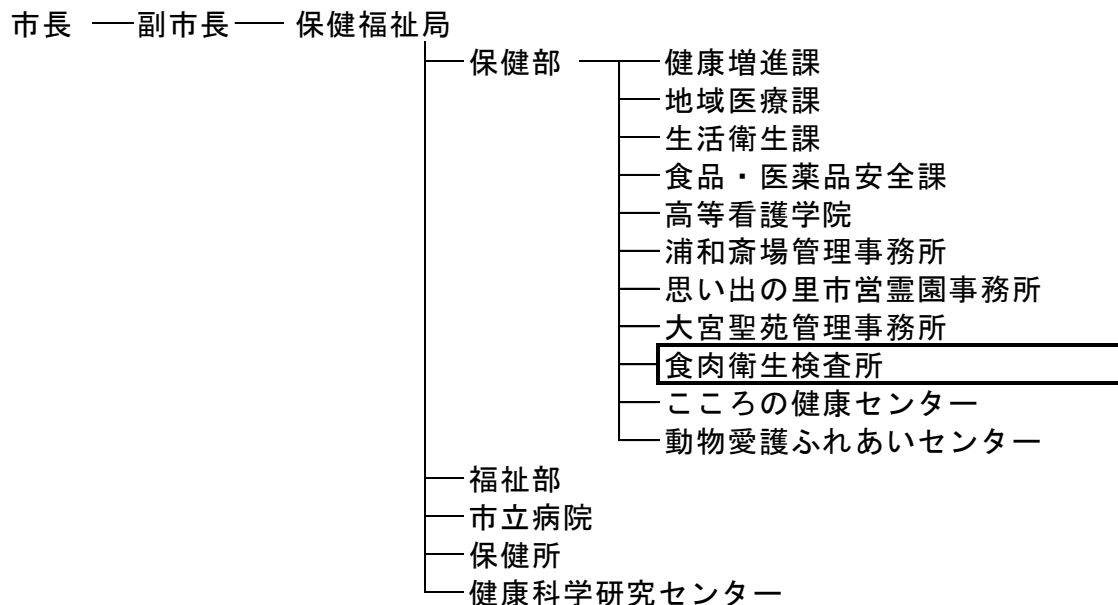
# 1 食肉衛生検査所の沿革

- 平成 13 年 5 月 「さいたま市」発足
- 平成 13 年 11 月 「さいたま市区の設置等に関する条例」を制定
- 平成 14 年 4 月 政令指定都市移行に向け、埼玉県からさいたま市に移管され、さいたま市保健所食肉衛生検査所設立
- 平成 14 年 11 月 庁舎竣工
- 平成 15 年 4 月 政令指定都市「さいたま市」の発足に伴い、さいたま市保健福祉局保健所食肉衛生検査所となり、その後、保健部食肉衛生検査所となる。

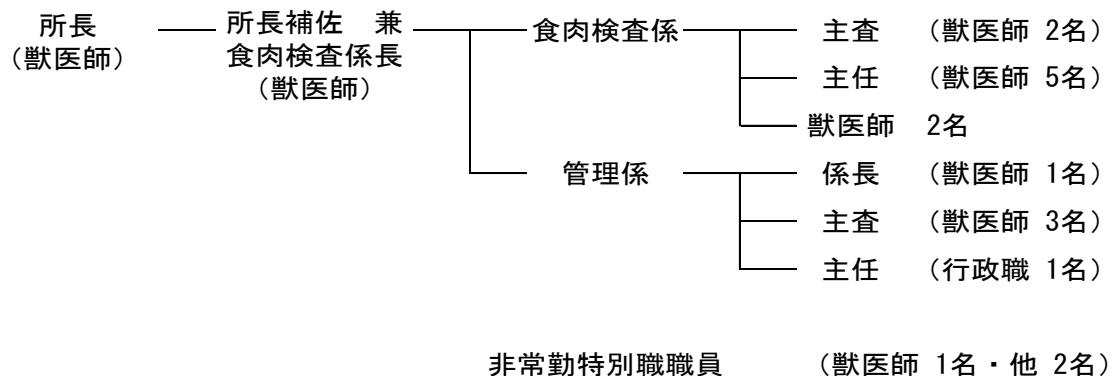
# 2 組織

(1) 市行政組織における位置付け(令和 2 年 3 月 31 日現在)

(さいたま市機構図抜粋)



(2) 職員構成 (令和 2 年 3 月 31 日現在)



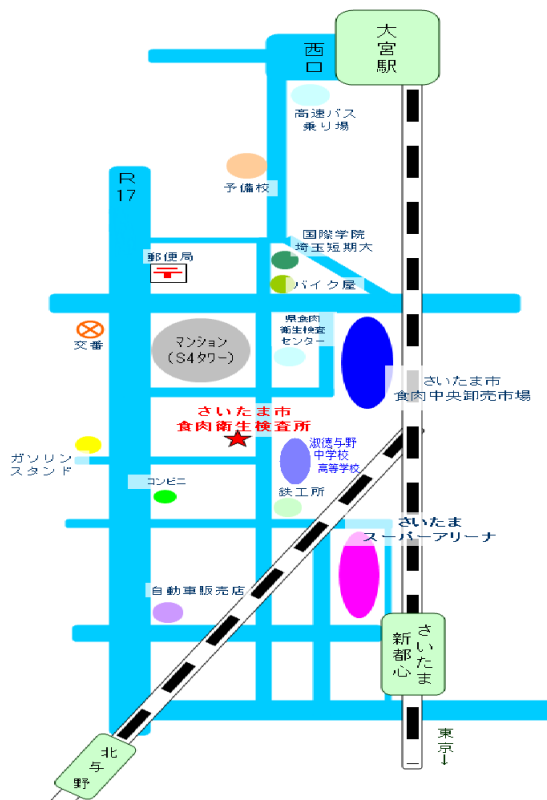
# 3 庁舎の概要

- (1) 名称 さいたま市食肉衛生検査所  
 所在地 〒338-0001 さいたま市中央区上落合5丁目14番21号  
 電話 048-851-4100 FAX 048-855-0577  
 E-mail shokuniku-eisei-kensa@city.saitama.lg.jp

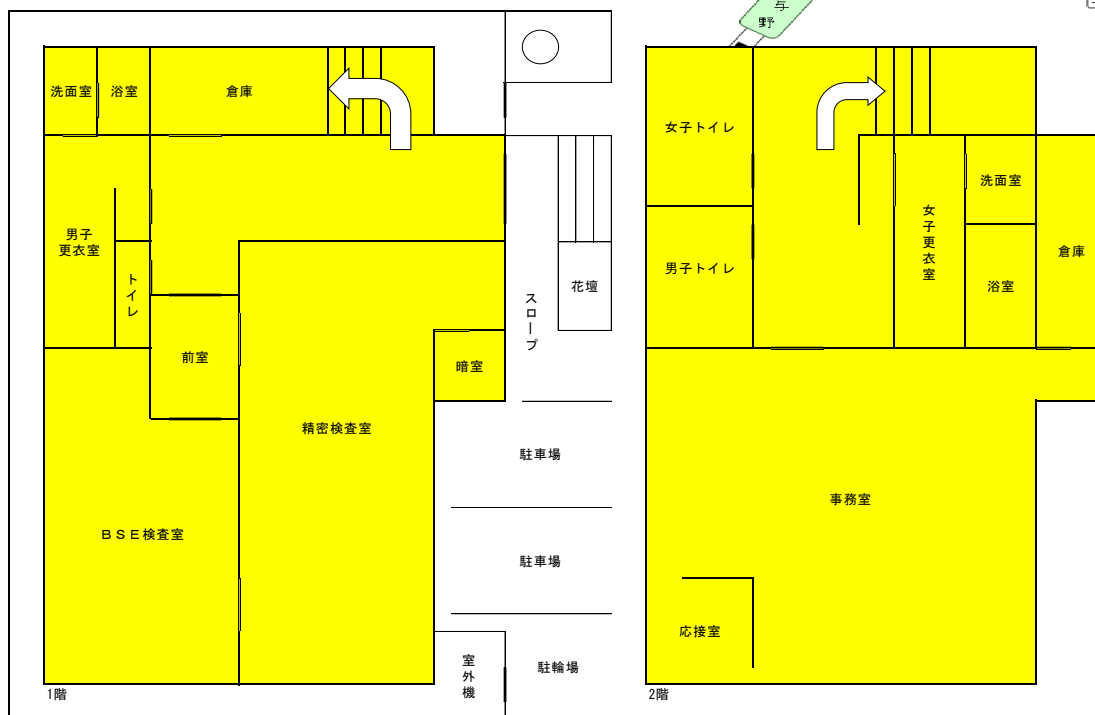
(2) 案内図

● 交通機関(電車の場合)

- ① 大宮駅西口より、線路沿いを徒歩約15分
- ② さいたま新都心駅西口より、アリーナ方面に徒歩約10分
- ③ 北与野駅北口より、国道17号沿いを徒歩約10分



(3) 所内平面図



1階 関地面積：220.00㎡ 建物面積：247.88㎡  
 1階 精密検査室：41.9㎡ BSE検査室：36.8㎡  
 2階 事務室：75.2㎡

#### 4 主要検査機器一覧

検査機器名	規 格
マイクロプレートリーダー システム	BioRad モデル 680
電子天秤	A&D FX-500i A&D FX-300i
パソコン	TOSHIBA ノートパソコン PB252JPB182J7X
システム実体顕微鏡	ニコン SMZ1500 型
生物顕微鏡	ニコン E2T-C (E200)
蛍光顕微鏡セット	Nikon E600 シリーズ
実体顕微鏡 ファーブルフォト	ニコン 携帯型
煮沸消毒器ステンレス製	都市ガス式 51820
オートクレーブ	トミー精工社 LSX-300 LSX-500 平山製作所 HV-50
純水製造装置一式	メルク Elix 5 UV
安全キャビネット (クラスⅡタイプ A2)	サーモ 1300 NSF 適合
アルミブロック恒温槽	タイテック DTU-2C
小型インキュベーター	アズワン 120-5
ホモジナイザー	ストマッカー400 サーキュレーター
乾熱滅菌セット	アドバンテック
微量高速遠心機	KUBOTA3780
マルチビーズショッカー	安井器械 MB1024BS
卓上小型遠心機	KUBOTA2010
ヘマトクリット遠心機	コクサン H=1200C
薬用冷蔵ショーケース	パナソニック MPR-312DCN-PJ
UV デシケーター	アズワン UVLH-400
フード付きウォーターバス	GK-0086-10
卓上振とう器	東京硝子器械 FNX-220
プレートインキュベーター	アルプ ITD-20E 型
冷凍冷蔵庫	福島工業 ARD-122PM
低温インキュベーター	福島工業 FMU-0522
冷却遠心機	コクサン H-15FR
ローター	クボタ AF2724A/AF5004
マイクロプレートウォッシャー	ハイドロフレックス M8/Ch2
プログラムインキュベーター	アズワン CN-40A
ウォーターバスシェイカー	東京理化工業 NTS-4000B
クールブロックバス	アズワン 120-5

検査機器名	規 格
ヒートブロック	タイテックアルミブロック DTU-2B ドライサーモユニット DTU-2C
保冷库	パナソニック MPR-215F-PJ
超低温フリーザー	日本フリーザー CLN32U 他
迅速乾燥装置	アズワン SPH-10N
製氷機	星崎 FM-120K
アルミブロック	タイラック AL-0836
往復振とう機	アズワン SRR-2
冷凍冷蔵庫	パナソニック MPR-215F-PJ
リアルタイム PCR 装置一式	タカラバイオ Thermal Cycler Dice Real Time System II (TP900)
パソコン	DELL AI25T6WHBW
ノートパソコン	DELL NI356WHBW
生物顕微鏡	オリンパス CX43
クール・ホットブロックバス	ASCH-201
クール・ホットブロックバス用ブロック	M96-Elisa
卓上冷却遠心機	KUBOTA 3520
アングルロータ	KUBOTA MA-2724
薬用保冷库	パナソニック MPR-414FS-PJ
インキュベーター	パナソニック MIR-254SPJ
マルチミキサー	MIX-101
mini VIDAS	99088
パーソナルインキュベーター	PIC100
遠心機	Merck XX42CFORT
小型インキュベーター	アズワン IC-150MA
デシケーター	アズワン SCD-2H



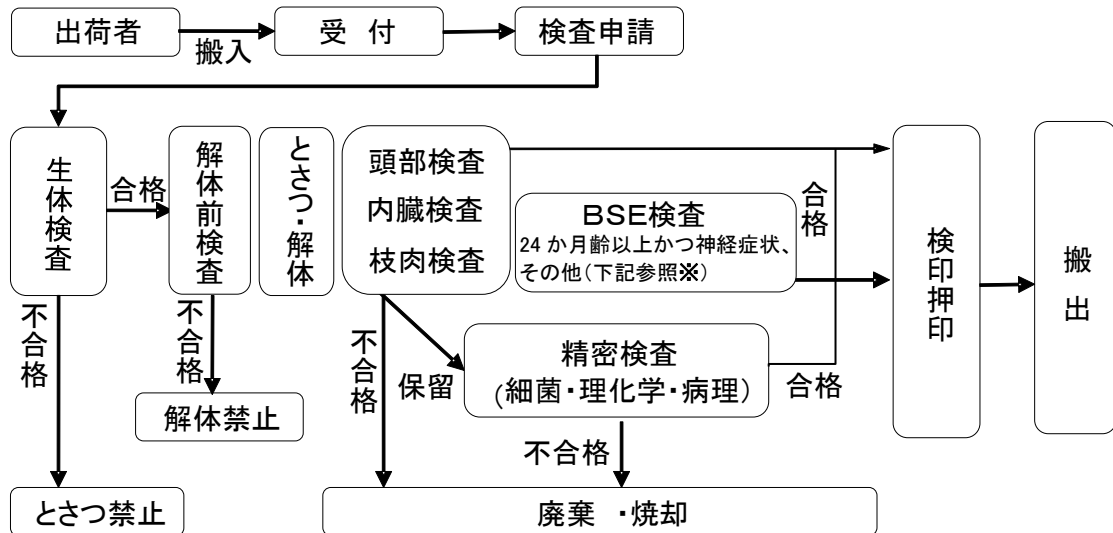
## 第2章 食肉衛生検査事業の概要

# 1 と畜検査

## (1) 所管と畜場

設置者	と畜場名	所在地
さいたま市	さいたま市と畜場	さいたま市大宮区

## (2) と畜検査の流れ



※ 平成 29 年 4 月 1 日より健康牛への BSE 検査が廃止され、24 か月齢以上の牛のうち、生体検査時に BSE 特有の神経症状の疑われる牛、又は全身症状を呈しかつその原因が明らかでない牛に対してのみ、エライザ法による BSE スクリーニング検査を行うことになりました。

スクリーニング検査で陽性になったものは、国の専門機関に検体を送り、確認検査を実施します。確認検査で陽性と判断された場合には、専門家会議による確定診断を行います。

## (3) と畜場開場日数

2 4 3 日

## (4) と畜検査頭数

と畜場に搬入される全ての獣畜について、と畜検査を実施しました。

(単位：頭)

	牛	とく	馬	こま	豚	めん羊 山羊	合 計
普通畜	8,984	42	2	2	53,110	0	62,140
病 畜	216	3	0	0	5	0	224
合 計	9,200	45	2	2	53,115	0	62,364

(5) 精密検査検体数

と畜検査において肉眼で判定が難しい場合には、より詳しい検査を行い総合的に診断しました。

	疑疾病名	牛	とく	馬	豚	合計
微生物学	敗血症	99	0	0	143	242
	豚丹毒				212	212
理化学	高度の黄疸	23	0	0	1	24
	尿毒症	8	0	0	2	10
	牛白血病 (rPCR)	82	0			82
病理学	全身性腫瘍	26 (26)	0	0	52 (52)	78 (78)
	牛白血病	286 (71)	0			286 (71)
BSE 検査		0	0			0
合計		524 (97)	0	0	410 (52)	934 (149)

※ ( ) 内はさいたま市健康科学研究センター依頼検査の内訳

## 2 と畜関連検査

(1) 家畜伝染病予防対策

精密検査により、家畜伝染病予防法に基づく疾病を発見した際に家畜保健衛生所に届出を行いました。(確定診断日による集計)

(単位：頭)

	牛	とく	馬	豚	合計
牛白血病	77	0			77
豚丹毒				7	7
合計	77	0	0	7	84

(2) 搬入枝肉の検査状況

さいたま市食肉中央卸売市場に枝肉で搬入されるものについて食品衛生法に基づく検査を実施しました。

(単位：頭)

種別	牛	とく	馬	豚	めん羊 山羊	合計
搬入枝肉	202	0	0	2,073	0	2,275

(3) その他

さいたま市食肉中央卸売市場で販売された卸売物品について、肉質の検査を行いました。

(単位：頭)

種別	牛	とく	馬	豚	合計
実施数	24	0	0	0	24

### 3 食鳥検査

(1) 食鳥処理場施設数（平成31年4月1日現在）

(単位：施設)

■大規模食鳥処理場（年間処理羽数30万羽超）		0
■認定小規模食鳥処理場 （年間処理羽数30万羽以下）	①とさつから解体まで一貫処理	0
	②食鳥と体を仕入れ、解体処理	3

(2) 食鳥処理場巡回指導状況

市内食鳥処理場を定期的に巡回し、技術指導を行いました。

認定小規模処理場施設（再掲）	3施設
巡回及び監視指導	28件

(3) 確認状況報告

食鳥処理衛生管理者が確認規程に従って実施した確認状況の報告を受け付けました。

(単位：羽)

処理した食鳥	808
基準に適合	808
基準に不適合	0

(4) 届出食肉販売業

脱羽後検査に合格した食鳥と体を譲り渡すための届出を行った食肉販売業者を定期的に巡回し、衛生指導を行いました。

届出食肉販売業	1施設
巡回及び監視指導	1件

#### 4 と畜場及び食鳥処理場の衛生対策

##### (1) と畜場及び食鳥処理場の衛生検査

施設の衛生管理や衛生的な処理作業の確認を目的とした検査、および食肉中の有害残留物質等についての検査を実施（検査の一部は、さいたま市健康科学研究センターに依頼）し、これらの結果に基づき衛生指導を行いました。

	項目	検体数
細菌検査	・牛、豚の腸管内微生物保有状況調査	腸内細菌：150 検体
	・牛肝臓微生物検査	腸管出血性大腸菌 0157:80 検体
	・食鳥肉の細菌数検査	一般細菌：15 検体／大腸菌群：15 検体
	・食肉輸送車ふき取り検査	大腸菌群：20 検体
	・牛枝肉および施設ふきとりモニタリング検査	腸管出血性大腸菌 0157:130 検体 (牛枝肉：70 検体、施設：60 検体)
	・牛枝肉の細菌数検査 (*)	一般細菌：40 検体／大腸菌群：40 検体
	・豚枝肉の細菌数検査 (*)	一般細菌：40 検体／大腸菌群：40 検体
理化学検査	・食肉中の残留物質（農薬含む）検査	牛 30 検体：7,605 項目
	・動物用医薬品の適正使用に係る検査	牛 22 検体、豚 8 検体：5,974 項目
	・牛枝肉の脳・脊髄組織汚染検査 (*) (グリア線維性酸性タンパク (GFAP) 残留量)	牛枝肉：80 検体
	・食肉中残留有害物質のモニタリング検査(*)	牛 10 検体／豚 10 検体：1,005 項目

(\*) 国の通知に基づく検査等

##### (2) 牛の特定危険部位（SRM）処理の作業確認の実施

SRM の除去・廃棄及び清掃等の作業について、適正性を確認しました。

(単位：回)

作業名	確認回数
脊柱除去作業	161
脊髄除去作業	637
脊髄以外の SRM 除去作業	644
SRM 取り扱い器具等の清掃作業	299
SRM 回収搬出作業	69

(3) 食肉衛生月間の実施

ア 衛生講習会

食肉の衛生的な取り扱いを心がけてもらうために各従事者に対して、衛生講習会を実施しました。

実施期間	令和元年9月5日、11日、12日
対象者	と畜場関係者 (荷受、と殺・解体、せり・枝肉搬出入、内臓取扱作業従事者)
受講者数	80名
演題	「特定家畜伝染病が発生したら ～豚コレラで想定してみましよう～」

イ 食肉輸送車両のふき取り検査（再掲）

食肉取扱業者の衛生意識向上を図り、食肉の衛生を確保するため、枝肉輸送車両の微生物汚染状況の検査を行いました。

対象車両数	20台
検査項目	大腸菌群
結果	陽性車両7台、陰性車両13台

ウ 表彰

衛生功労者と優良従業員に対して表彰を行いました。

実施年月日	令和元年9月5日、11日、12日
受賞者	優良従業員3名(衛生功労者は該当者なし)

## 5 その他許可・証明等

(1) と畜場外への持ち出し許可（令和2年3月31日現在）

と畜場法第14条第3項第2号の規定に基づき、以下の施設に対して持ち出し許可をしました。

対象部位	許可施設	所在地
皮	橋本産業株式会社	埼玉県熊谷市

(2) 証明書の発行

関係事業等からの証明願に基づき証明書の発行を行いました。

(単位：件)

証明書の名称	発行数
と畜場法第16条の規定に基づく措置の証明書	36
と畜検査証明書	11

## 6 普及啓発事業

(1) 視察、見学及び学生実習等の受入れ状況

国及び他自治体からの視察・見学希望者を受入れ、主な事業や食肉衛生検査についての説明を行いました。

(単位：名)

実施月	団体名	人数
10月	京都府中丹西保健所	1

(2) ホームページによる情報公開

さいたま市のホームページ上で食肉衛生検査所の概要について、情報公開を行い、随時更新しています。(アドレス：<https://www.city.saitama.jp>)

## 第3章 統計



## 1 と畜検査頭数

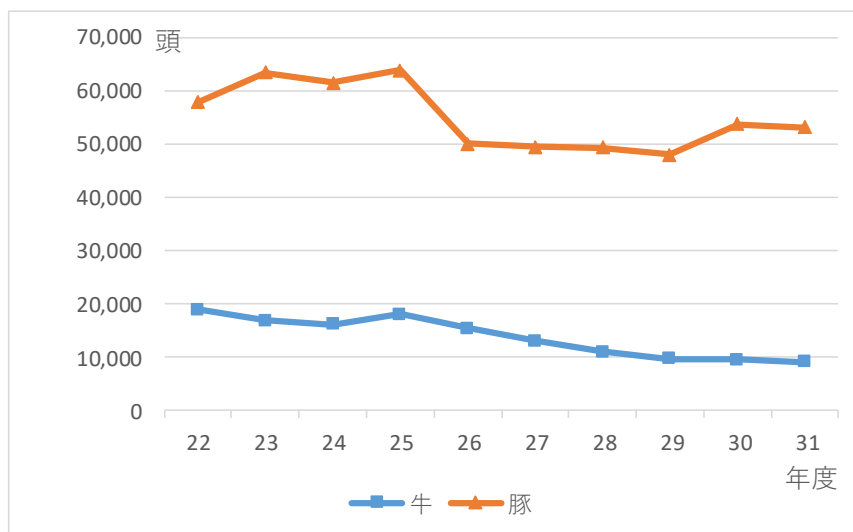
### (1) と畜検査頭数の推移

牛のと畜頭数は昨年度から約 5%減少しました。10 年前と比較するとほぼ半分の頭数となっています。

豚のと畜頭数は昨年度とほぼ同数でした。

(単位：頭)

年度(平成)	牛	とく	馬	豚	めん羊・山羊
22	19,033	108	3	57,856	0
23	16,873	85	0	63,471	0
24	16,158	79	3	61,558	0
25	18,063	55	0	63,790	0
26	15,470	99	2	50,065	0
27	13,126	48	2	49,529	0
28	10,978	46	3	49,255	0
29	9,693	41	3	48,021	0
30	9,624	40	1	53,677	0
31	9,200	45	4	53,115	0



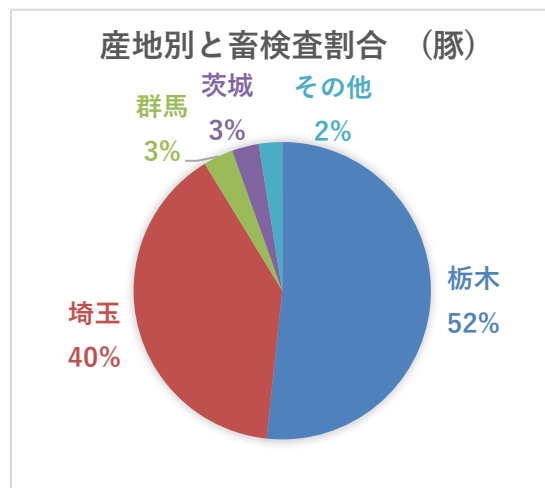
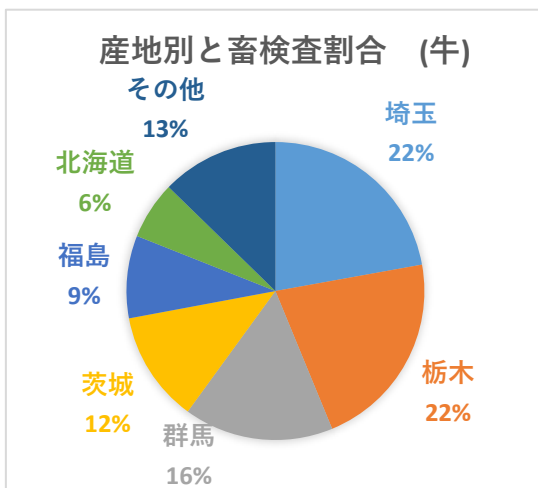
(2) 生体産地別と畜検査頭数

牛については埼玉県が約 22%で最も多く、次いで栃木県、群馬県の順でした。豚については栃木県が約 52%で最も多く、埼玉県は約 40%でした。

牛は関東地方を中心に全国各地からの入荷がありました。豚は埼玉県および隣県がほとんどを占めました。

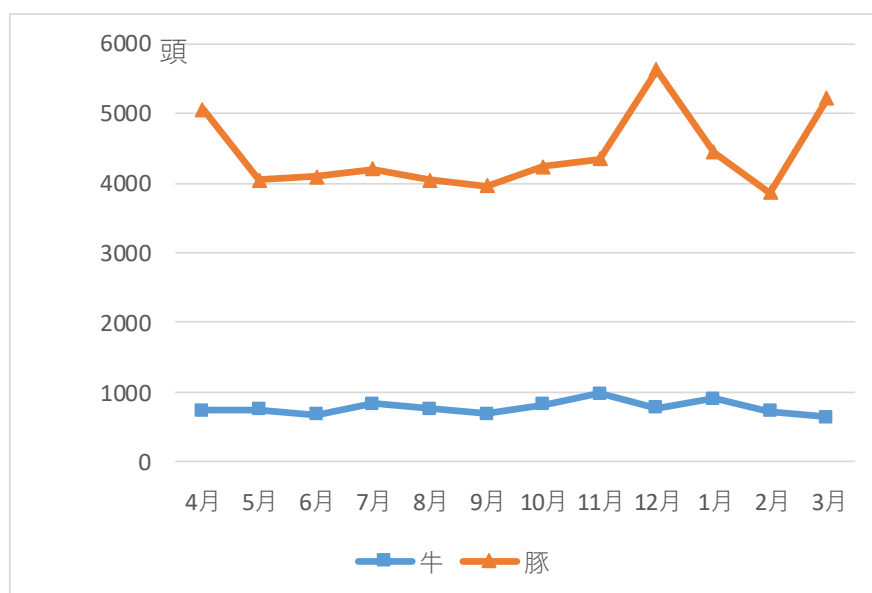
産地	牛		とく	馬	豚		小計
	頭数	( % )			頭数	頭数	
北海道	577	( 6.27% )	2	0	0	( 0.00% )	579
青森	4	( 0.04% )	0	0	0	( 0.00% )	4
岩手	140	( 1.52% )	1	0	0	( 0.00% )	141
宮城	3	( 0.03% )	1	0	119	( 0.22% )	123
秋田	100	( 1.09% )	1	0	21	( 0.04% )	122
山形	7	( 0.08% )	0	0	0	( 0.00% )	7
福島	824	( 8.96% )	6	0	135	( 0.25% )	965
茨城	1,108	( 12.05% )	3	0	1,557	( 2.93% )	2,668
栃木	1,989	( 21.62% )	14	1	27,456	( 51.69% )	29,460
群馬	1,493	( 16.23% )	4	0	1,733	( 3.26% )	3,230
埼玉	2,038	( 22.16% )	8	0	21,022	( 39.58% )	23,068
千葉	220	( 2.39% )	2	0	360	( 0.68% )	582
東京	193	( 2.10% )	2	0	13	( 0.02% )	208
神奈川	11	( 0.12% )	0	0	47	( 0.09% )	58
新潟	208	( 2.26% )	1	0	0	( 0.00% )	209
富山	7	( 0.08% )	0	0	0	( 0.00% )	7
山梨	0	( 0.00% )	0	0	385	( 0.72% )	385
長野	102	( 1.11% )	0	4	0	( 0.00% )	106
岐阜	1	( 0.01% )	0	0	0	( 0.00% )	1
静岡	0	( 0.00% )	0	0	267	( 0.50% )	267
愛知	2	( 0.02% )	0	0	0	( 0.00% )	2
三重	15	( 0.16% )	0	0	0	( 0.00% )	15
滋賀	1	( 0.01% )	0	0	0	( 0.00% )	1
島根	132	( 1.44% )	0	0	0	( 0.00% )	132
宮崎	11	( 0.12% )	0	0	0	( 0.00% )	11
鹿児島	8	( 0.09% )	0	0	0	( 0.00% )	8
沖縄	4	( 0.04% )	0	0	0	( 0.00% )	4
合計	9,198	( 100.00% )	45	5	53,115	( 100.00% )	62,363

※受付から出荷までに年度をまたぐ場合、と畜検査頭数と合計数の差が生じることがあります。



(3) 月別と畜検査頭数

	牛	とく	馬	こま	豚
4月	724	5	1	0	5,060
5月	739	7	0	0	4,038
6月	670	6	0	0	4,086
7月	829	1	0	0	4,198
8月	748	4	0	2	4,044
9月	682	2	0	0	3,955
10月	816	5	1	0	4,241
11月	971	3	0	0	4,341
12月	764	3	0	0	5,629
1月	904	4	0	0	4,441
2月	722	2	0	1	3,863
3月	631	3	0	1	5,219



(4) と畜検査獣畜の種別

(単位：頭)

牛		豚		
肉用種	未經産	2,389	普通畜 (6ヶ月)	50,010
	経産	572	大貫 (母豚、種豚)	3,105
乳用種	未經産	325		
	経産	5,912		

2 とさつ解体の禁止又は廃棄したもの原因

(単位：頭)

	廃棄実頭数	細菌病							ウイルス・リケッチア病		原虫病		寄生虫病		その他の疾病							計					
		炭疽	豚丹毒	サルモネラ症	結核病	ブルセラ病	破傷風	放線菌症	その他	豚コレラ	その他	トキソプラズマ病	その他	のう虫病	ジストマ病	その他	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫		腫瘍	中毒諸症	炎症又は炎症産物による汚染	変性又は萎縮	その他
牛	禁止	0																									0
	全部廃棄	367						1							25	5	4	3	47	76			202	1	4	367	
	一部廃棄	8,181					1						1										6,040	3,953	2,464	12,768	
とく	禁止	0																									0
	全部廃棄	2												1						1							2
	一部廃棄	32																		2			30	6	2	40	
馬	禁止	0																									0
	全部廃棄	0																									0
	一部廃棄	4																		1			3	1	1	6	
豚	禁止	0																									0
	全部廃棄	105	6												61	10	1	2	3	4			8	10		105	
	一部廃棄	52,738						14															28,069	1,469	38,152	67,754	
めん羊	禁止	0																									0
	全部廃棄	0																									0
	一部廃棄	0																									0
山羊	禁止	0																									0
	全部廃棄	0																									0
	一部廃棄	0																									0

### 3 病類表

#### (1) 全部廃棄

##### ア 概要

検査総頭数に対する全部廃棄の割合は、牛 4.0%、とく 4.4%、豚 0.2%でした。

(単位：頭)

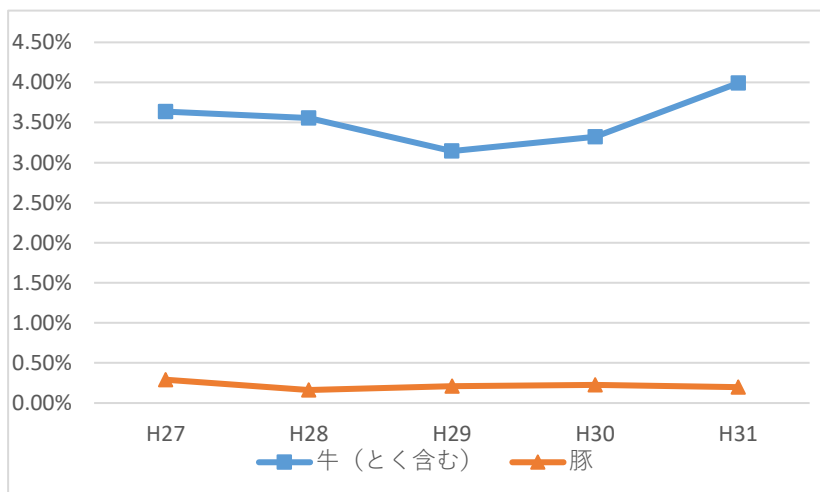
疾病名	牛	とく	馬	豚	合計
豚丹毒				6	6
敗血症	5	0	0	10	15
膿毒症	25(1)	1	0	61	87
尿毒症	4(1)	0	0	1	5
高度の黄疸	3(2)	0	0	2	5
高度の水腫	47(1)	1	0	3	51
全身性腫瘍	76(12)	0	0	4	80
全身性筋炎	202(120)	0	0	8	210
全身性筋変性	1(1)	0	0	10	11
その他	4	0	0	0	4
小計	367	2	0	105	474

※ ( ) 内は病畜の頭数。「その他」：牛白血病 4。

##### イ 年度別と体全部廃棄状況

(単位：頭)

年度 (平成)	牛(とく含む)		豚	
	全部廃棄 頭数	廃棄率(%)	全部廃棄 頭数	廃棄率(%)
27	479	3.64%	144	0.291%
28	392	3.56%	80	0.162%
29	306	3.14%	101	0.210%
30	321	3.32%	121	0.225%
31	369	3.99%	105	0.198%



## (2) 一部廃棄

[牛]

疾病名		年計
<b>呼吸器総数</b>		<b>1,736</b>
呼吸器	肺水腫	20
	肺炎	244
	肺胸膜炎	44
	肺膿瘍	77
	肺奇形	1
	肺気腫	364
	異吸肺	52
	血吸肺	9
	胸膜炎	121
	横隔膜水腫	48
	横膜炎	509
	横隔膜膿瘍	238
	横隔膜色素変性	4
	横隔膜出血	2
	横隔膜ヘルニア	2
胸腔内臓器水腫	1	
<b>消化器総数</b>		<b>8,942</b>
消化器	皮様嚢腫	127
	舌膿瘍	1
	胃炎	531
	胃膿瘍	127
	胃周囲脂肪壊死	33
	腸炎	262
	腸膿瘍	2
	腸水腫	4
	腸間膜脂肪壊死	98
	肝炎	283
	肝膿瘍	367
	胆管炎	154
	肝包膜炎	1,497
	おがくず肝	3,309
	脂肪肝	171
	肝巣状脂肪化	31
	肝色素変性	205
	肝斑状出血	20
	富脈斑	1,280
	肝出血	22
	うっ血肝	35
	肝奇形	7
	胆石症	18
	嚢胞肝	9
	肝蛭症	1
	腹膜炎	10
	胃腸炎	201
	胃腸水腫	4
	胸腹膜炎	15
	内臓水腫	111
内臓黄疸	6	
内臓異臭	1	

疾病名		年計
<b>造血・循環器総数</b>		<b>790</b>
造血・循環器	心水腫	49
	心外膜炎	516
	心筋炎	17
	心色素変性	143
	心出血	47
	心嚢水腫	1
	心内膜炎	1
	心血管炎	1
	心肥大	2
脾炎	2	
脾膿瘍	3	
脾腫	8	
<b>泌尿・生殖器総数</b>		<b>2,810</b>
泌尿・生殖器	腎水腫	1
	腎炎	1,780
	腎膿瘍	26
	腎周囲脂肪壊死	106
	腎色素変性	61
	嚢胞腎	801
	水腎症	1
	腎結石	14
	腎欠損	3
	膀胱炎	4
	子宮炎	2
	子宮蓄膿	1
乳房炎	8	
乳房膿瘍	2	
<b>運動器総数</b>		<b>4,093</b>
運動器	筋水腫	89
	筋炎	3,489
	筋膿瘍	247
	筋変性	4
	筋石灰沈着	32
	筋色素変性	1
	筋出血	4
	筋断裂	1
	関節炎	91
	関節膿瘍	9
	脱臼炎症	39
	骨折炎症	22
	骨膿瘍	58
	骨奇形	4
	皮膚乳頭種	1
	皮膚パピローマ	1
放線菌症	1	

牛疾病総数 18,371

[とく]

疾病名		年計
呼吸器総数		7
呼吸器	肺炎	2
	異吸肺	1
	胸膜炎	3
	横隔膜炎	1
消化器総数		26
消化器	胃炎	5
	胃腸炎	3
	腹膜炎	1
	腸炎	4
	胆管炎	1
	肝包膜炎	5
	おがくず肝	5
	脂肪肝	1
	内臓水腫	1

疾病名		年計
泌尿・生殖器総数		13
	腎炎	13
運動器総数		25
運動器	筋水腫	1
	筋炎	13
	筋膿瘍	2
	関節炎	3
	脱臼炎症	2
	骨折炎症	3
	骨奇形	1

とく疾病総数 71

[馬・こま]

疾病名		年計
呼吸器総数		2
	血吸肺	1
	胸腔内臓器水腫	1
消化器総数		4
	胃炎	1
	肝包膜炎	2
	おがくず肝	1

疾病名		年計
泌尿・生殖器総数		1
	腎炎	1
運動器総数		1
	関節炎	1

馬疾病総数 8

[豚]

疾病名		年計	
<b>呼吸器総数</b>		<b>50,544</b>	
呼吸器	血吸肺	37,725	
	肺炎	10,203	
	肺胸膜炎	699	
	肺水腫	1	
	肺膿瘍	324	
	横隔膜炎	3	
	横隔膜膿瘍	3	
	胸膜炎	1,586	
<b>消化器総数</b>		<b>17,349</b>	
消化器	舌炎	1	
	胃腸炎	915	
	胃炎	97	
	胃膿瘍	3	
	肝炎(間質性)	5,031	
	肝炎(実質性)	1,115	
	肝包膜炎	6,500	
	肝色素変性	211	
	うっ血肝	13	
	脂肪肝	1,230	
	肝硬変	6	
	肝膿瘍	12	
	肝奇形	2	
	肝出血	11	
	胆管炎	2	
	脾臓水腫	7	
	脾炎	1	
	腸炎	917	
	抗酸菌症	14	
	腸気腫	37	
	腸膿瘍	2	
	腸水腫	3	
	内臓異臭	2	
	内臓水腫	2	
	胸腹膜炎	1,120	
	腹膜炎	92	
	脂肪壊死	1	
	胆汁汚染	2	
	<b>造血・循環器総数</b>		<b>1,382</b>
	造血・循環器	心外膜炎	968
		心筋炎	3
心膿瘍		1	
心水腫		2	
心肥大		2	
脾炎		50	
脾腫		299	
脾捻転		21	
脾梗塞		3	
脾膿瘍		2	
脾血腫		17	
脾出血		11	
脾奇形		1	
脾委縮		1	
リンパ節膿瘍		1	

疾病名		年計
<b>泌尿・生殖器総数</b>		<b>1,332</b>
泌尿・生殖器	腎炎	725
	嚢胞腎	529
	水腎症	19
	腎奇形	10
	腎欠損	11
	腎膿瘍	6
	腎色素変性	2
	萎縮腎	4
	膀胱炎	10
	膀胱膿瘍	3
	膀胱結石	4
子宮炎	2	
子宮膿瘍	1	
卵巣炎	1	
乳房炎	4	
乳房膿瘍	1	
<b>運動器総数</b>		<b>6,891</b>
運動器	筋炎	5,035
	筋膿瘍	1,245
	筋水腫	35
	筋変性	20
	筋出血	28
	関節炎	161
	関節膿瘍	21
	骨折炎症	119
	骨膿瘍	216
	脱臼炎症	3
	骨奇形	1
	脊椎奇形	1
	膿瘍骨化	1
	筋繊維症	1
血腫	4	

豚疾病総数 77,498



#### 4 精密検査内訳

	項 目	頭数	検体数(項目数)	
			内訳	
微生物検査	・ 監視指導計画に基づく検査	340	475	
	牛枝肉微生物検査	20	40	一般細菌 40 検体 大腸菌群 40 検体
	豚枝肉微生物検査	20	40	一般細菌 40 検体 大腸菌群 40 検体
	腸管内由来微生物保有調査	150	150	
	食鳥とたい及び施設等における微生物検査	-	15	一般細菌 15 検体 大腸菌群 15 検体
	食肉輸送車荷台拭き取り検査	-	20	
	モニタリング検査 (O157)	70	130	牛枝肉 70 検体 施設 60 検体
	牛肝臓微生物検査	80	80	
	・ 後期総合振興計画に基づく検査	45	90	
	牛枝肉微生物検査 (O157)			
・ 疾病診断	55	454	牛 11 頭 99 検体 豚 44 頭 355 検体	
	<b>小計</b>	<b>440</b>	<b>1019</b>	
理化学検査	・ 監視指導計画に基づく検査			
	グリア繊維性酸性タンパク残留調査	40	80	
	・ 収去検査 (残留農薬、動物用医薬品)	30	30	牛 30 検体 項目 豚 0 検体
	・ 国の通知に基づく収去検査 (モニタリング) (動物用医薬品)	10	20	牛 10 検体 豚 10 検体
	・ と体全部廃棄からのモニタリング (適正使用に係る検査)	11	30	牛 22 検体 豚 8 検体
	・ 疾病診断 (ドライケム)	33	34	牛 30 頭 31 検体 豚 3 頭 3 検体
	(PCR (牛白血病))	82	82	牛 82 頭 82 検体 豚 0 頭 検体
	・ 事故品 (異臭)	1	1	牛 1 頭 豚 0 頭
・ 調査研究 (グリア繊維性酸性タンパク残留調査)	7	7		
	<b>小計</b>	<b>214</b>	<b>284</b>	
病理学検査	牛白血病	77	286	うち、8頭71検体は健科研へ依頼
	・ 疾病診断 上記以外の疾病疑い (健科研へ依頼)	7	78	牛 3 頭 26 検体 豚 4 頭 52 検体
	・ 事故品	24	24	牛 24 頭 豚 0 頭
	<b>小計</b>	<b>108</b>	<b>388</b>	
	<b>合計</b>		<b>1,691</b>	

## 参 考

## <と畜場の概要>

(令和2年4月1日現在)

名 称	さいたま市と畜場
所在地	さいたま市大宮区吉敷町 2-23
電話番号	048-644-2929
営 営 者	市 営(経済局農業政策部)
許可年月日	昭和36年12月15日
年間開場日数	243日(平成31年度)
とさつ制限頭数	大動物 250頭 小動物 1,000頭

1 敷地面積 [16,031m<sup>2</sup>]

2 建物延べ面積 [7,722m<sup>2</sup>]

### 3 主要施設

(1) けい留場(鉄筋コンクリート造 2階建) [1,633m<sup>2</sup>]

(けい留所収容能力:大動物 160頭、小動物 800頭)

<設備> 生体洗浄装置、生体計量器、円形サークル、レストライニングコンベア、  
生体追込み装置

(2) と殺解体室 [888m<sup>2</sup>]

(解体処理能力:大動物 250頭、小動物:1,000頭)

<設備> ノッキングベン、不動化装置、サイトフーラー、ダウフーラー、脊髓吸引装置、  
枝肉自動洗浄装置 2基、枝肉殺菌装置、インクラインコンベア 4基、  
前処理コンベア、スキナー 2基、背割鋸 ほか

(3) 内臓処理室 [500m<sup>2</sup>]

<設備> 頭、足、皮、内臓各シュート ほか

- (4) 病畜と室 [96m<sup>2</sup>]  
〈設備〉 トロッパ<sup>o</sup> - 1 基、ホイス1 基、背割電鋸、検査台、冷蔵庫 1 室
- (5) 隔離室 [64m<sup>2</sup>]
- (6) 卸売場 [98m<sup>2</sup>]  
〈設備〉 せり機械装置、冷房設備 ほか
- (7) 懸肉室(小動物 10℃冷却室・通路を含む) [762m<sup>2</sup>]  
〈設備〉 テンタル型計量機 4 基 ほか
- (8) 枝肉出荷ホーム [75m<sup>2</sup>]  
〈設備〉 トロッパ<sup>o</sup> - 6 基、インクラインコンベア 1 基
- (9) 冷蔵庫(7 室、卸売業者冷蔵庫含む) [738m<sup>2</sup>]  
(冷凍能力 342,000Kcal : 大動物 350 頭、小動物 500 頭)  
〈設備〉 スクリュー式冷凍機 2 基、空冷式ユニット冷凍機 3 基
- (10) 電気、機械室(契約電力 1,200KW) [410m<sup>2</sup>]  
〈設備〉 変電室 2 ヶ所、キュービクル 3 基、中央監視盤 1 面
- (11) 管理事務所 [300m<sup>2</sup>]
- (12) 検査員室 [100m<sup>2</sup>]
- (13) 卸売業者事務所(出荷者控室を含む) [566m<sup>2</sup>]
- (14) 食堂(買参人休憩所を含む) [99m<sup>2</sup>]
- (15) 污水处理施設(活性污泥処理方式) [1,400t/日]

必要経費一覧

(令和2年4月1日現在)

種 別			と畜場 使用料	解体料	と畜検査 手数料	格付料	合 計	
牛	未經産		¥4,206	¥4,180	¥700	¥567	¥9,653	
	経産			¥6,380			¥11,853	
	病畜			¥8,470			¥13,943	
馬	普通畜		¥2,776	¥6,380	¥700		¥9,856	
	病畜			¥8,470			¥11,946	
子牛	普通畜		¥2,283	¥1,045	¥300		¥3,628	
	病畜			¥1,705			¥4,288	
子馬	普通畜		¥853	¥1,045	¥300		¥2,164	
	病畜			¥1,705			¥2,858	
豚	普通畜		枝肉 100 k g 未満	¥853	¥1,045	¥300	¥110	¥2,308
			枝肉 100 k g 以上	¥1,227	¥2,090			¥3,727
	病畜		枝肉 100 k g 未満	¥853	¥1,705			¥2,968
		枝肉 100 k g 以上	¥1,227	¥3,245	¥4,882			
めん羊 山羊	普通畜		¥479	¥1,045	¥300		¥1,824	
	病畜			¥1,265			¥2,044	

令和2年4月1日 さいたま市食肉衛生検査所発行